日本製紙グループ

SASBスタンダード対照表

作成:2025年9月

 ESG: 日本製紙グループ ESGデータブック2025

 IR: 日本製紙グループ 統合報告書2025

パルプ・紙製品

会計指標	コード	開示場所				
温室効果ガス排出量						
グローバルでのスコープ1総排出量	RR-PP-110a.1	ESG: マテリアルバランス (P.57)				
スコーブ1の排出量を管理するための長期的・短期的な戦略または 計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマン スの分析についての説明	RR-PP-110a.2	ESG: 気候変動問題への対応(P.28-41) IR : 気候変動問題への対応(P.68-70)				
大気質	大気質					
以下の汚染物質の大気排出量: (1) NOx (N20を除く)、 (2) SO2、(3) 揮発性有機化合物 (VOCs) 、(4) 粒子 状物質 (PM) 、(5) 有害大気汚染物質 (HAPs)	RR-PP-120a.1	ESG : マテリアルバランス(P.57)				
エネルギー管理						
(1) 総エネルギー消費量、(2) 系統電力の割合、(3) バイオマス由来の割合、(4) その他の再生可能エネルギー由来の割合、(5) 自家発電エネルギーの総量	RR-PP-130a.1	-				
水管理	水管理					
(1) 総取水量、(2) 総水消費量、ベースライン水ストレスが高 い地域または非常に高い地域の割合	RR-PP-140a.1	ESG: TNFDに基づく情報開示 (P.50-55) マテリアルバランス (P.57) IR : 環境負荷の低減 (P.70-71)				
水管理リスクの説明と、それらのリスクを軽減するための戦略と実践 の説明	RR-PP-140a.2	ESG: 水資源の管理 (P.44-45) TNFDに基づく情報開示 (P.50-55) IR : 環境負荷の低減 (P.70-71)				
サプライチェーン管理						
(1) 第三者認証を受けた森林地帯からの木質繊維の調達割合 と各基準に対する割合、(2) その他の繊維調達基準を満たした 木質繊維の調達割合と各基準に対する割合	RR-PP-430a.1	ESG:持続可能な原材料調達 (P.14-17)				
リサイクル・回収繊維の調達量	RR-PP-430a.2	ESG: 日本製紙グループの原材料調達 (P.17)				

活動指標	コード	開示場所
パルプ生産	RR-PP-000.A	ESG: マテリアルバランス (P.57)
紙生産	RR-PP-000.B	ESG: マテリアルバランス (P.57)
木質繊維の総調達量	RR-PP-000.C	ESG: マテリアルバランス (P.57)

森林経営

会計指標	コード	開示場所		
生態系サービス・影響				
第三者の森林管理基準に認定された森林地帯の面積、各基準に 認証された割合	RR-FM-160a.1	ESG: 持続可能な森林経営(P.18-21)		
保全ステータスにある保護森林地帯の面積	RR-FM-160a.2	ESG: 持続可能な森林経営 (P.18-21)		
絶滅危惧種の生息地における森林地帯の面積	RR-FM-160a.3			
森林地帯によって提供される生態系サービスからの機会を最適化するアプローチの説明	RR-FM-160a.4	ESG: 生物多様性の保全(P.48-55) IR : 生物多様性の保全(P.72-73)		
先住民族の権利				
先住民の土地における森林地帯の面積	RR-FM-210a.1	-		
人権、先住民の権利、および地域社会に関するエンゲージメントプロセスとデューデリジェンスの実践の説明	RR-FM-210a.2	ESG:海外植林事業の推進(P.20-21) 人権の尊重(P.63-65)		
気候変動への適応				
気候変動によってもたらされる森林管理と木材生産の機会とリスクを 管理する戦略の説明	RR-FM-450a.1	ESG: 気候変動問題への対応(P.28-41)		

活動指標	コード	開示場所
事業体が所有や賃貸、管理している森林地帯の面積	RR-FM-000.A	ESG: 持続可能な森林経営 (P.18-21)
総立木在庫	RR-FM-000.B	-
木材伐採量	RR-FM-000.C	=